

平成 27 年度 第 1 回 暁木会役員会

- 1 日時：平成 27 年 5 月 27 日（水）18:30～19:30
- 2 場所：三宮センタープラザ西館 6F 3号会議室
- 3 出席者：尾原会長、河村副会長、寺谷副会長
常任幹事（^{<会計>}中山、^{<総務>}芦田、福田 山下、北田、石原 ^{<広報>}恒藤、小川修、小川清）
KTC 理事（岩田）、顧問（宮永、池野、松下、梶谷、田中）
神戸大学井料准教授
- 4 議事内容
 - 1) 総会報告・課題
 - ・ H26 年度暁木会総会の開催報告及び認識する課題を報告した。
(意見)
 - ・ 学校に学生達の私語注意を求めることは品位に欠く。注目を集めるスピーチなど主催者側の魅力向上策も必要
 - 2) 年度行事予定
 - ・ H27 年度年間行事を報告した。
(意見)
 - ・ 大阪あかつき会の総会 (10/2 (金)) も予定に入れ、幹部の出席をお願いしたい。
 - ・ 大学側に支部総会の予定を早めにお知らせいただきたい。
 - 3) 大学意見交換会での提案事項
 - ・ 6/11 大学との意見交換会を行う。主な内容は総会報告と大学への要望事項
 - ・ 大学の先生方に総会費用の一部をご負担願いたい。
(意見)
 - ・ ご指導いただいた先生方に負担を求めるのは忍びない。そこは他の経費削減等に対応すべき。(背に腹は代えられない現状もあり、一度議題としたい。他学科の対応状況も確認する。)
 - ・ 名誉教授の参加が少なく、より多く方にご参加いただきたい (現在も暁木会から個々に依頼している)

(大学側からの報告事項)

・来年度の1回生より、1年を4半期に分割するクォーター制が導入される。暁木会と連携して実施しているプロジェクトマネジメントも期間等変わるが、今後も継続してほしい。

4) 会費科員増強方策

・総会、支部への助成、名簿作成、大学への支援等の経費をまかなうため、1,200名の会費会員が必要。基金の運用先である市債利率の低下、物故者・退会者等会員の減少もあり、会計的に厳しい状態にある。持続可能な基金を築くため、卒業後10年以内の若い世代を増やしたい。

・昨年度に引き続き「若手との懇親会」の開催、職域だけでなく学年幹事・総会出席者からの「横への広がり」を進めたい。

(意見)

- ・支部内の会費会員数に応じて、支部助成金に差をつけてはどうか。
- ・1,200名未満でも持続可能な支出体制を検討する時期ではないか。

5) 暁木会ニュース目次案

- ・9月号の締め切りは7月中としている。Web版なので誌面に限りはない。
- ・各支部に原稿を依頼している。

(意見)

- ・鴻池 KTC 理事長の会長就任挨拶を掲載してほしい。(依頼する)

6) その他

- ・最近の大学の変化について
先端膜工学研究所の建物が新築された。
- ・就職状況について
活動中であるが、実感として良い。